

# 2015年度 上期決算説明会

2015年10月28日

富士通フロンテック株式会社

代表取締役社長 下島 文明

# 1. 2015年度 上期決算概要

# 連結経営成績

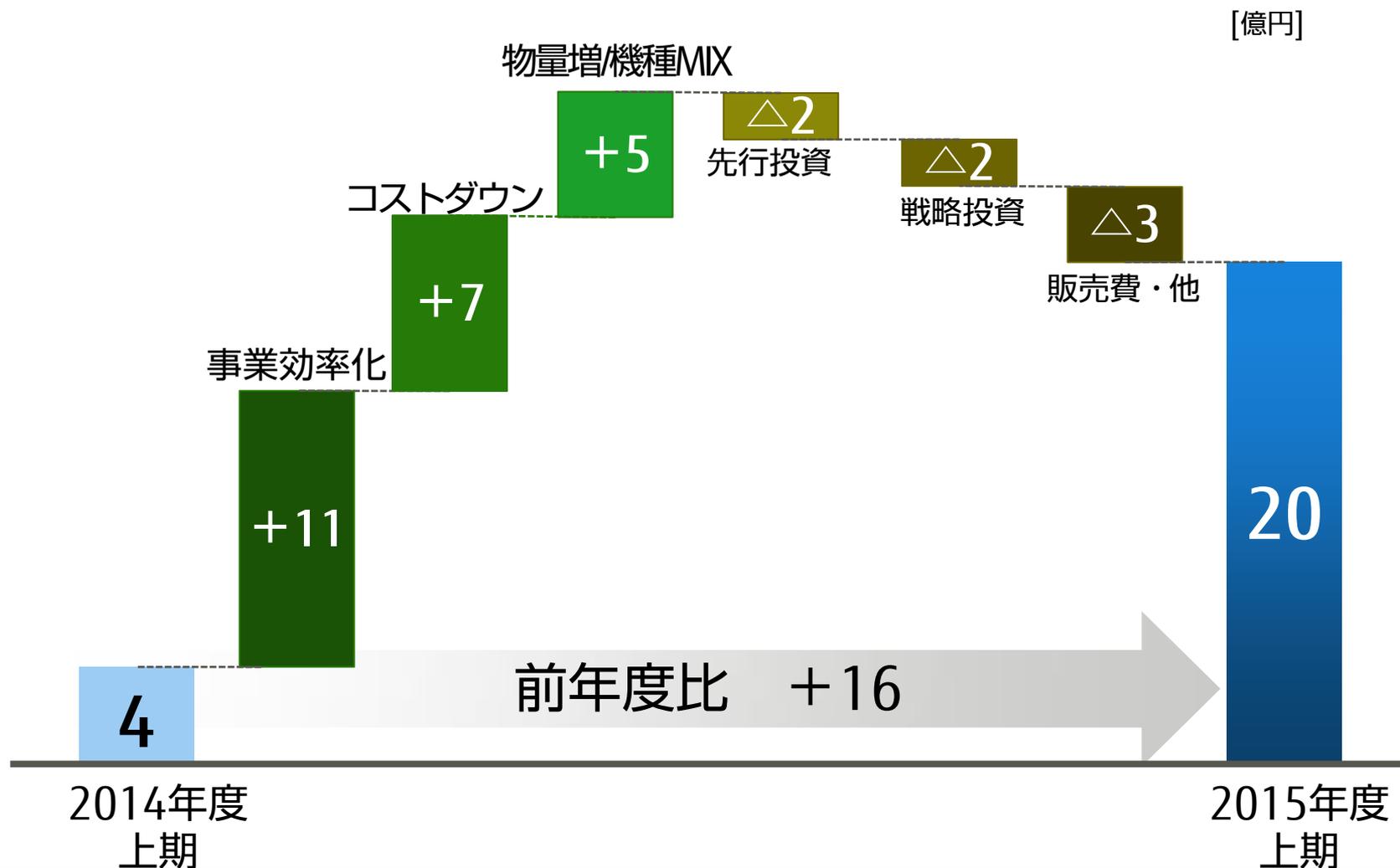
[億円]

摘要	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株当たり 純利益
2015年度 上期	557	20	19	13	53.67円
2014年度 上期	488	4	6	3	14.32円
前年同期比	+69	+16	+13	+10	
4月公表値	571	15	13	9	37.54円
4月公表比	△14	+5	+6	+4	

	期中平均為替レート (1USD=)
2015年度上期	122円
2014年度上期	103円

# 営業利益の主な増減要因

- コストダウン、事業効率化の継続による効果
- 規模の増加による収益改善

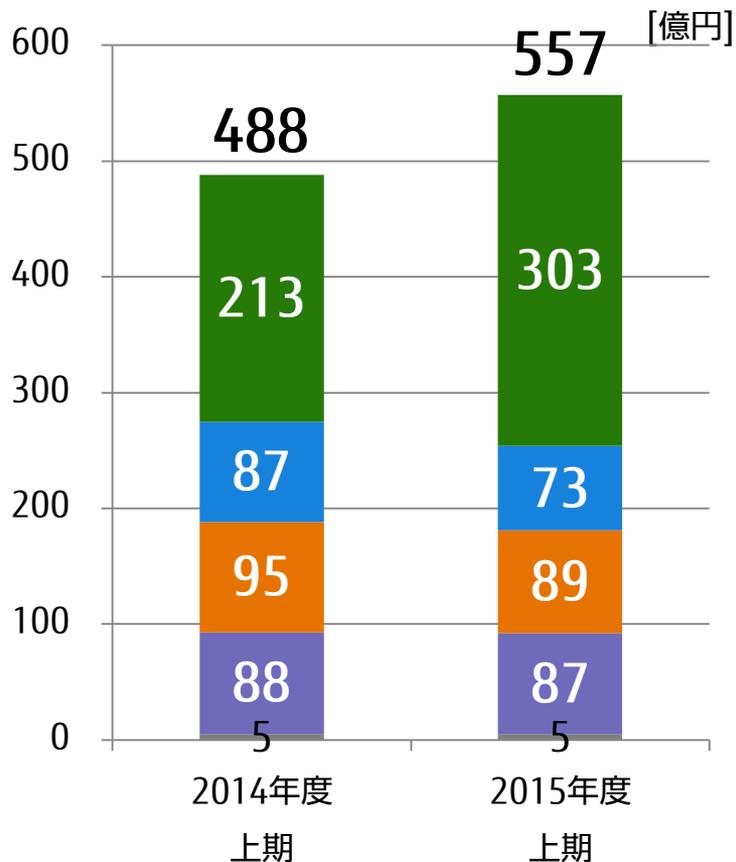


# セグメント別売上高・営業利益

[億円]

摘要	2014年度上期		2015年度上期		前年同期比	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
金融ビジネス	213	7	303	24	+90	+17
流通ビジネス	87	△5	73	△6	△14	△1
産業・公共ビジネス	95	2	89	3	△6	+1
サービスビジネス	88	5	87	5	△1	±0
その他	5	0	5	1	±0	+1
全社費用	-	△5	-	△7	-	△2
計	488	4	557	20	+69	+16

# セグメント別売上高



**金融ビジネス 303億円 (前年同期比+90億円,+43%)**

- 国内向けATM / 営業店端末更改需要増
- 海外メカコンポーネントビジネス拡大

**流通ビジネス 73億円 (前年同期比△14億円, △ 16%)**

- 欧米向けPOS のオペレーション見直し (△19億円)

**産業・公共ビジネス89億円 (前年同期比△6億円, △6%)**

- トータリゼータ端末の端境期による減
- 公営競技場運用 / 保守ビジネスは堅調に推移

**サービスビジネス 87億円 (前年同期比△1億円, △2%)**

- LCMサービスが堅調に推移
- スポットサービスの減

# 地域別売上高

- 国内は金融ビジネスを主に伸長
- 欧州、中国はメカコンポーネントが好調に推移
- 米州はPOSオペレーション見直しの影響により減収

[億円]

摘要	2014年度上期	2015年度上期	前年同期比
国内	332	389	+57
海外 ( )内は売上高比率	156 (31.9%)	168 (30.1%)	+12
米州	49	44	△5
欧州	42	53	+11
アジア	64	70	+6
[中国]	[47]	[52]	[+5]
その他	1	1	±0
計	488	557	+69

# 連結財政状態、キャッシュ・フロー

[億円]

摘要	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
2015年度 上期	711	394	55.1%	1,633.22円
2014年度末	727	383	52.4%	1,589.43円
増減額	△16	+11	+2.7%	

[億円]

摘要	営業C/F A	投資C/F B	刈-C/F A+B	財務C/F C	C/F A+B+C	現金及び 現金同等物の 四半期末残高
2015年度 上期	49	△13	36	△22	14	95
2014年度 上期	39	△16	23	△7	17	80
増減額	+10	+3	+13	△15	△3	+15

## 2. 2015年度 通期計画概要

# 連結業績予想(前回から変更なし)

[億円]

摘要	売上高	営業利益	経常利益	純利益	1株当たり 純利益
2015年度計画	1,160	55	50	30	125.20円
2014年度	1,089	44	48	28	116.68円
増減額	+71	+11	+2	+2	

	期中平均為替レート (1USD=)
2015年度想定	120円
2014年度	110円

# セグメント別売上高

- ・金融ビジネスは国内外において好調に推移
- ・流通ビジネスは海外POSのオペレーション見直しを主に減収
- ・産業・公共およびサービスは下期にリカバリー

[億円]

摘要	2014年度	2015年度	増減額
金融ビジネス	497	629	+132
流通ビジネス	195	123	△72
産業・公共ビジネス	210	213	+3
サービスビジネス	177	186	+9
その他	10	9	△1
計	1,089	1,160	+71

# 地域別売上高

- 国内は金融機関ATM / 営業店端末更新需要などで増収
- 海外は前年度に引き続き、米州・欧州・中国で還流式ユニットの所要が増加  
ただし、米州はPOSオペレーション見直しによる減収があり前年度並み

[億円]

摘要	2014年度	2015年度	増減額
国内	757	770	+13
海外	332	390	+58
( )内は売上高比率	(30.5%)	(33.6%)	(+3.1%)
米州	111	107	△4
欧州	100	132	+32
アジア	116	150	+34
[中国]	[83]	[122]	[+39]
その他	5	1	△4
計	1,089	1,160	+71

# 3. 事業概況

## 中期経営方針 B to B to Front

## 2015年度方針

### 1) 事業の戦略的推進

A. プロダクト～ソリューション・サービスを含めたトータルビジネスの推進

B. グローバルビジネスの戦略的な拡大

C. 新ビジネス・新商品の創出

### 2) 事業効率化の徹底継続

### 次なる成長に向けたビジネス推進

#### ① グローバルビジネスの成長加速

- ATM向けメカコンポーネントビジネス拡大
- ビジネスの領域拡大

#### ② 国内ビジネスの深化・進化

- お客様ニーズへの確実な対応
- サービス起点のビジネス拡大
- 流通ビジネスの事業構造とSCMの見直し

#### ③ 新たな成長分野の創出

- フロントコア技術をソリューション・サービスへ

### 営業利益率5%に向けた体質強化

#### ④ 事業効率化の徹底継続

- コスト・品質マネジメントの継続強化
- 製造プロセス革新、バリューチェーン整流化

## ① グローバルビジネスの成長加速

～ 中期的な海外比率を40%へ～

### ■ ATM向けメカコンポーネントビジネス拡大

- 中国、欧州向けを中心に好調。上期台数ベース前年比25%増
- 中国五大銀行向けATMに搭載開始

### ■ ビジネスの領域拡大

#### <メカコンポーネント>

- 新小型リサイクル機 ⇒ 最大手SCOベンダに採用決定
- 流通店舗の現金管理 ⇒ 北米大手小売り向けPilot実施
- 次世代BRU開発着手

#### <装置・ソリューション>

- S100ATM ⇒ スペイン大手銀行向け受注、展開開始
- 中国TCR ⇒ 現地装置ベンダと共同開発推進中
- 印鑑/イメージソリューションアジア展開  
⇒ 現地Slerとチャネル開拓を開始



グローバルBRU  
(G750)



流通店舗向け現金管理機

## ② 国内ビジネスの深化・進化

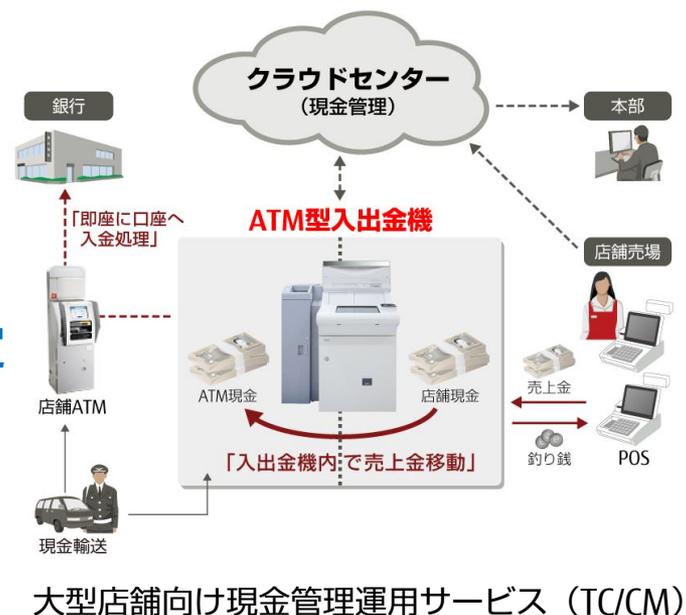
### ■ お客様ニーズへの確実な対応

- ATM / 営業店端末更新需要への確実な対応  
(上期台数ベース前年比 ATM : 230%増、営業店端末 : 70%増)
- 海外カード対応 ⇒ 店舗向けATM (i-ATM) での対応開発推進中
- 軽量化営業店店舗向け新システム ⇒ 具体的提案、Pilot運用を実施

### ■ サービス起点のビジネス拡大

- 現金管理運用サービス (TC/CM)  
⇒ 大型店舗向け発表 (5月)
- 印鑑照合ソリューション  
⇒ 中小金融機関向けクラウドサービス4Q稼働予定
- スマートデバイス向けアプリケーション  
検証サービス開始 (9月)

### ■ 流通ビジネスの事業構造とSCMの見直し



# 流通ビジネスの事業構造とSCMの見直し

## ■ 事業構造の見直し

- RFIDにおけるソリューション・サービスを主体としたビジネスモデルへの転換

## ■ POSのSCM見直し

- ロイヤリティービジネスモデルに転換し、利益を確保
- バリューチェーンの上流と下流に集中、富士通グループ全体で最適化を図る

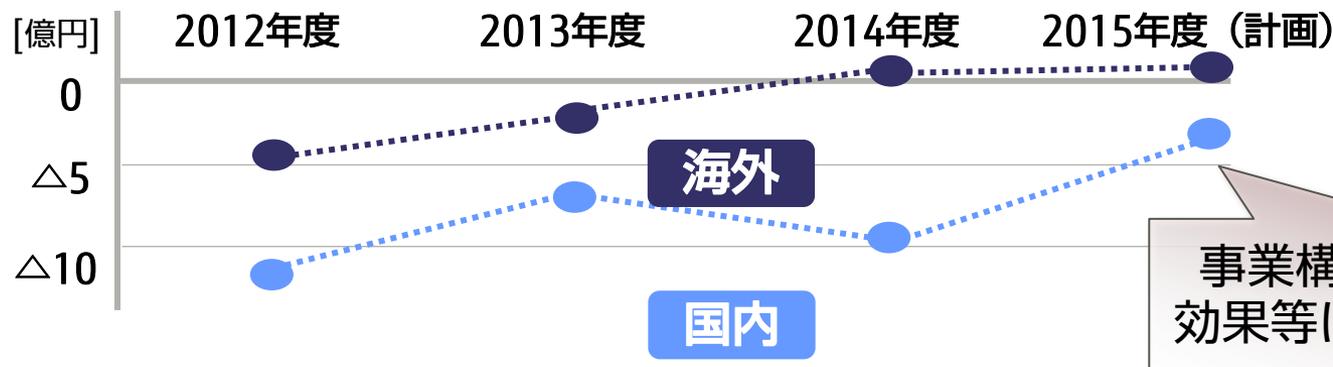


### ● 新オペレーション

欧米 ⇒ 2015年4月より実施済

国内・アジア ⇒ 4Qから開始予定

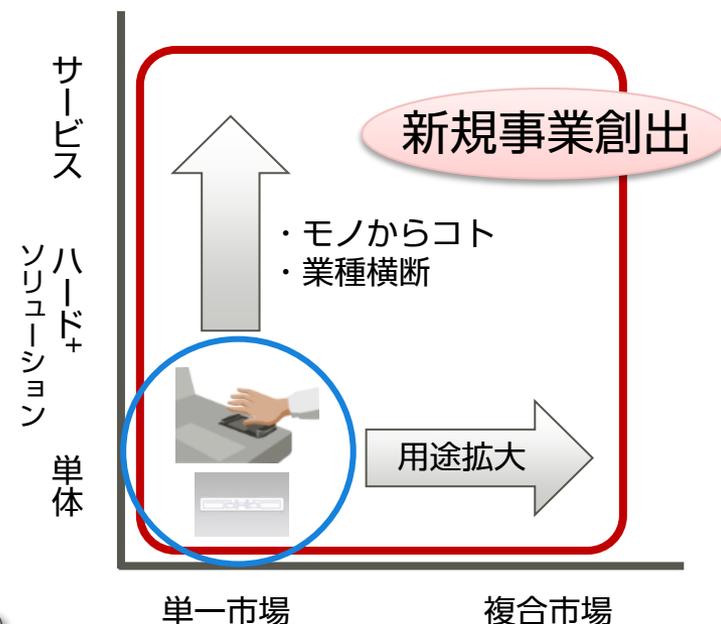
## ■ 営業損益推移



事業構造、SCMの見直し  
効果等により改善を目指す

## ③ 新たな成長分野の創出

- フロントコア技術による新ビジネスを創出  
⇒ 「フロントバリュー推進本部」を立上げ、  
手のひら静脈認証、RFIDを核にしたソリューション創出、サービスビジネス化の活動開始
- コア人材、グローバル人材の育成強化  
⇒ ビジネス提案力強化・グローバルスキル養成  
を図る教育制度新設と育成着手



## ビジネスインキュベーションに向けた投資

- 2015年度は5億円強の戦略投資を実施予定  
⇒ 今後も積極的に継続
- 主な取り組み
  - ・RFIDプラットフォーム開発
  - ・手のひら静脈認証でクレジット決済
  - ・金融ソリューションビジネスの海外展開

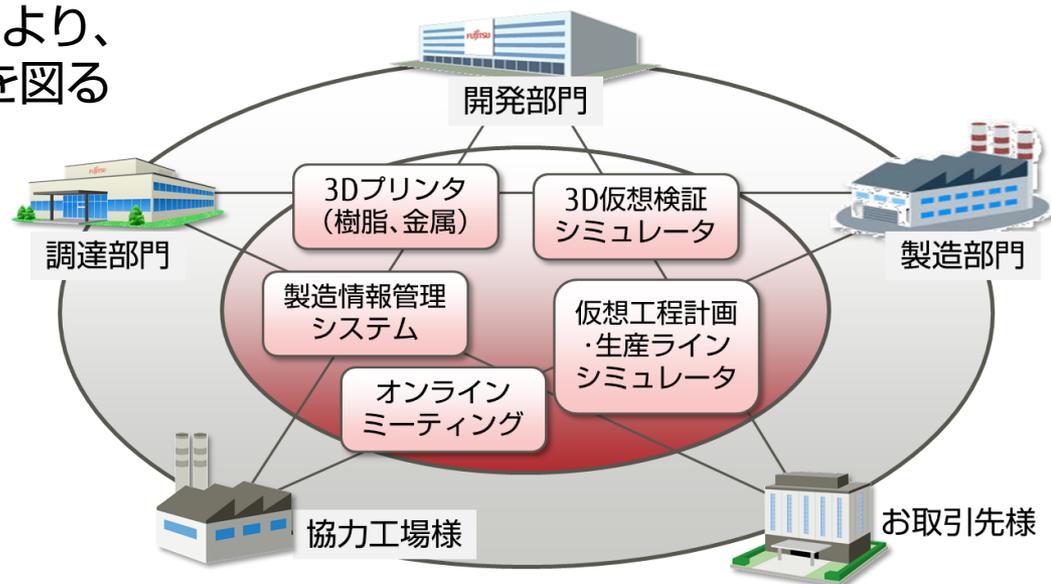
## ④ 事業効率化の徹底継続 <売上総利益20%、営業利益5%>

- 製造体制の強化、プロセス改善
  - ⇒ フィリピン(FDTP)第二工場が9月に稼働開始  
製造能力を50%以上増強
  - ⇒ 国内外生産ラインのプロセス改善  
タブレット端末導入による製造情報共有
  - ⇒ 製造設備の積極的な更新・強化

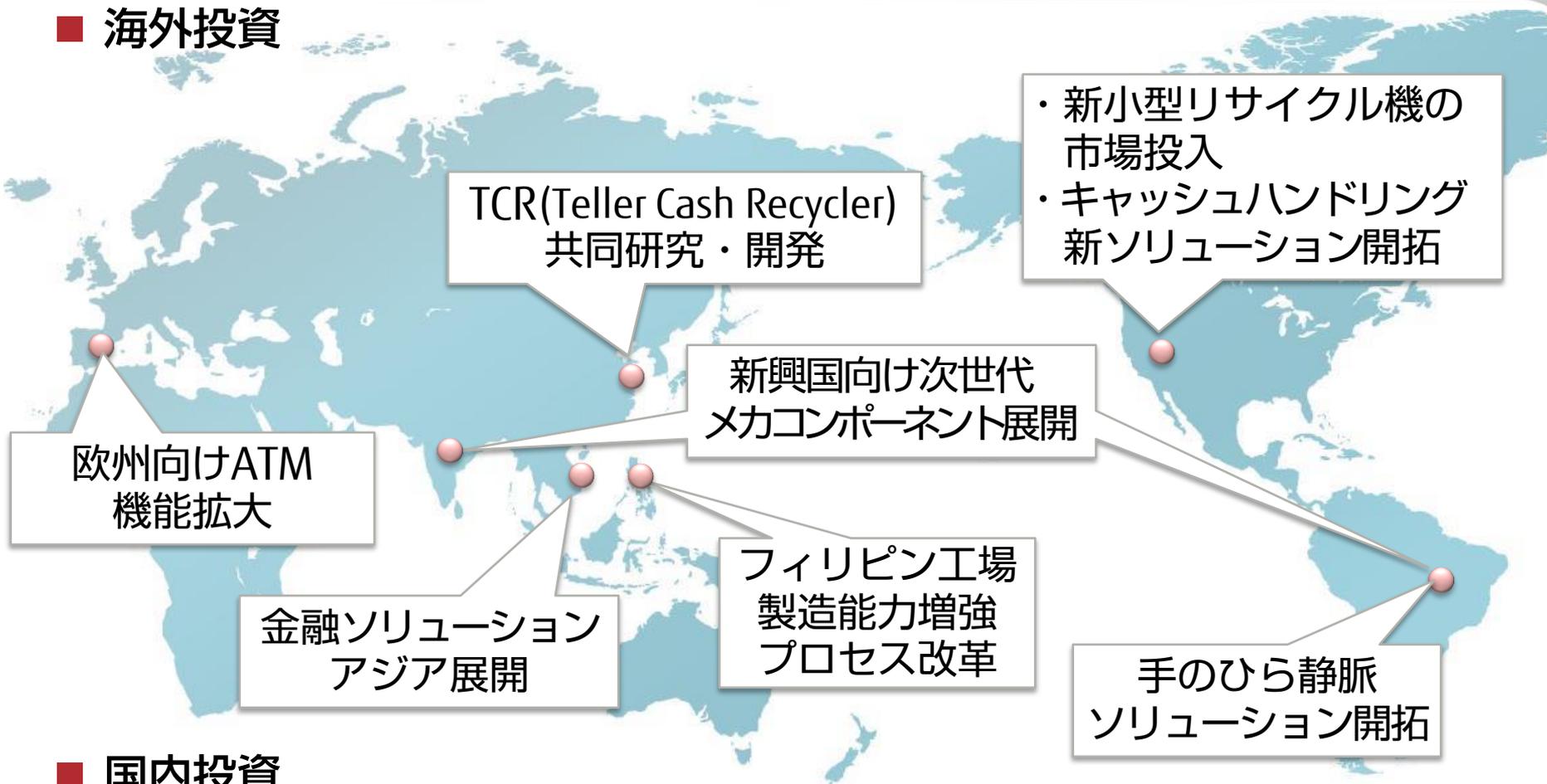


フィリピン第二工場製造ライン

- ものづくり革新
  - ⇒ 製品開発と生産プロセスの融合により、  
生産リードタイム最大60日削減を図る
  - ⇒ 開発から製造、協力工場様、  
お取引先様とのネットワーク化  
による導線短縮



## ■ 海外投資



## ■ 国内投資

- マイナンバー適用開始、オリンピック開催に向けたセキュリティソリューション開発
- RFID/手のひら静脈センサーを使用した新ソリューション開発
- 金融・流通横断のキャッシュマネジメントサービス拡充

事業の戦略的推進と事業効率化の徹底継続をベースに  
B to B to Front (お客様の最前線)で新たなビジネスを  
創出していくことで、

## <2015年度計画>

**連結売上高**            **1,160億円**

**連結営業利益**            **55億円**

を目指してまいります。

### <見通しに関する注意事項>

- 本資料には、富士通フロンテックが現時点で把握可能な情報から判断した想定などにもとづく将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見通しの記述が含まれています。
- また、多様なリスクや不確実性(経済動向、関連業界における激しい競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度などがあります)を含んでおります。そのため、実際の業績は当社の見込みとは異なる可能性がありますので、ご承知置きください。

### <商標について>

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。



**FUJITSU**

shaping tomorrow with you